

質疑応答（回答）

開催日：2月15日（火）	
1	<p>Q 等級の付け方について、SPFと同様にコンポーネント工場が特級付けするように考えてよろしいでしょうか？</p> <p>A 2×10 JASを現在、長野県内で1社取得に向けて準備中であり、JAS製材工場において製品に格付を行ったものを、コンポーネント会社や工務店に出荷することになります。</p>
2	<p>Q 固定荷重について、それぞれの条件で、自重は何ニュートンで計算していますでしょうか？</p> <p>A 比重から計算して、2×8で、メーター49ニュートンで、2×10でメーター58.8ニュートンとなっています。</p>
3	<p>Q 根太受け金物、梁受け金物について、カラマツ特有の注意点があれば教えてください。ZN釘の強度など。</p> <p>A 住木のCマーク金物は樹種不問で運用可能です。 金物メーカーのオリジナル金物は樹種の指定があるので、採用する前にメーカーに確認する必要があります。</p>
4	<p>Q 根太間隔 227.5 について、455 への読みかえについて表外に記載があり、ご説明がありました。が、どのような読みかえなのか？</p> <p>Q 2本抱かせて、2-208 だとか 2-210 という形にして、それを 455 ピッチに並べると、見かけの負担幅が 227.5、1本当たりの負担幅が 227.5 になり、読みかえできるというようなイメージになります。</p>
5	<p>Q 合板と根太の接着工法はあまり使われない理由は？また建築確認は通るか？</p> <p>A 雨掛り時の性能劣化や現場の施工管理の観点から設計者が期待している性能を発揮するための管理に難があるためです。 たわみに対する居住性を高めるための保険程度として運用するのが良いと考えられます。 また、ツーバイフォー協会の書籍に計算手法が掲載されているため、確認がおりないといったことはないと考えられます。</p>
6	<p>Q ヤニの心配はないでしょうか？ 現しで使うこともあるかと思ます。</p> <p>A 乾燥過程で脱脂乾燥をして含水率 15%以下に仕上げますので、通常のヤニ滲出の心配はほとんどありません。 ただし、ヤニの多い材やヤニ袋（ヤニツボ）などでは、温度差によって滲み出てくるという可能性はありますが、この場合、楊子等で掻き取りエタノール</p>

	<p>等で拭き取れば解決できると思います。</p> <p>樹木には個体差がありますので、ヤニの染み出しが絶対がないという保証はありません。</p>
7	<p>Q 接着剤併用について、T 型梁としての接着による一体性は技術的に説明が可能でしょうか？</p> <p>A ツーバイフォー協会の書籍に計算手法が掲載されているため問題ないと考えられます。</p>
8	<p>Q 2×10 材、2×8 材の現時点での供給量や、供給比率などが分かれば教えてください。</p> <p>A J A S 取得がまだされていないので、現時点では、供給量はありません。また、JAS 取得後の事業計画においては 2x8 の供給予定はありません。</p>
9	<p>Q スパンの長さは、図示では壁芯からの長さに見えますが、壁の厚みで実際の長さは考慮できるのでしょうか？</p> <p>また、天井根太のスパン表で、2×6 が記載されていないようでしたがなぜでしょうか？</p> <p>A 原則、芯芯でスパンを取るのがセオリーです。当たりをつけるときにはそれをやっていただいて、あとは設計者の判断でどうするかという判断になると思います。</p> <p>正式には芯で取っというほうが良いと思います。</p> <p>天井根太のスパン表については、208 と 210 の比較の 1 例として 204 を載せています。</p>
10	<p>Q 現時点で何社の製材工場が製造される見込みがあるのか？</p> <p>A 枠組壁工法構造用製材の J A S を取得する予定の工場は県内 1 社で、同社に半製品の粗挽き材（グリーン材）を供給する連携工場は数社の予定です。</p>
11	<p>Q 保管中にネジレは出ないでしょうか？</p> <p>カラマツは回転しながら成長すると聞いたことがある。</p> <p>A</p> <p>含水率 15%以下に乾燥していますから、基本的にはネジレの変動は大きくないと思います。ネジレは含水率が変化するとそれに伴って出ます。</p> <p>2×10 材は小径木と比べて大径材からの製材になるため、ネジレはさらに少ないと思います。</p> <p>補助事業におけるパネル製作や建築での実証利用でも、ねじれが問題になることはありませんでした。しかし、樹木には個体差がありますし、保管状況等にも左右されますので、ねじれがないと保証することはできません。</p>
12	<p>Q 中高層へのスペック時に、下枠への利用も期待したいところですが、2×6 の可能性はありますか？</p> <p>A 現時点では、2×10 材のみ製造を考えております。</p>

13	Q J A S 認証上、粗挽き（原板）までは協力工場での対応も可能だと思いますが、そのような連携は想定されておりますでしょうか？
	A 協力工場での連携も想定しています。また、連携していただける工場が増えることはありがたいと考えており、歓迎します。
14	Q 断熱材の厚みが増してきておりますが？
	A No.9 の質問とつながりが多分あって、2×6 材の話の続きだと思うのですが、それは大丈夫だと思います。

開催日：2月17日（木）	
15	Q 生産量はどのくらいの規模の工場を予定していますか？
	A 最初は量産対応ではなくて、邸別対応を基本にスタートをする予定です。
16	Q 在来軸組工法における登り梁としての利用は検討されておりますでしょうか？
	A 在来軸組工法の登り梁として、強度的に利用可能性は高いと思いますが、現在では使う想定はしていません。
17	Q 価格は SPF と比べてどのあたりを考えていますか
	A 製品価格は取引時点での相場や取引量によって決まりますので、セミナー事務局としてはお答えすることは困難です。J A S 工場になる事業者と商談なさってくださいますようお願いいたします。
18	Q 垂木や屋根梁等のスパン表はどのように考えていますか？
	Q 今回、床根太に特化して、床根太に 2×10 使うだろうということを特化してやっているの、垂木の検討は今回のスパン表では対応していません。
19	Q 材寸は 2×10、その後 2×8 だけですか？ 2×6 や 2×4 などの生産予定はないですか？
	A 最初は 2×10 のみ製造を考えております。
20	Q 構造用合板の原材料と取り合いになるのではないかと思います。安定供給の見込みは？
	A セミナーでご説明したように、カラマツ大径材は資源的には潤沢です。原木価格については、合板原木との競合が想定されますが、信州カラマツの新需要拡大はもとより、2x4 建築における国産材利用拡大という国の施策に沿えるよう安定供給に努めたいと思っております。